

体験型総合訓練施設の設置について

2017年1月12日

東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

TEPCO

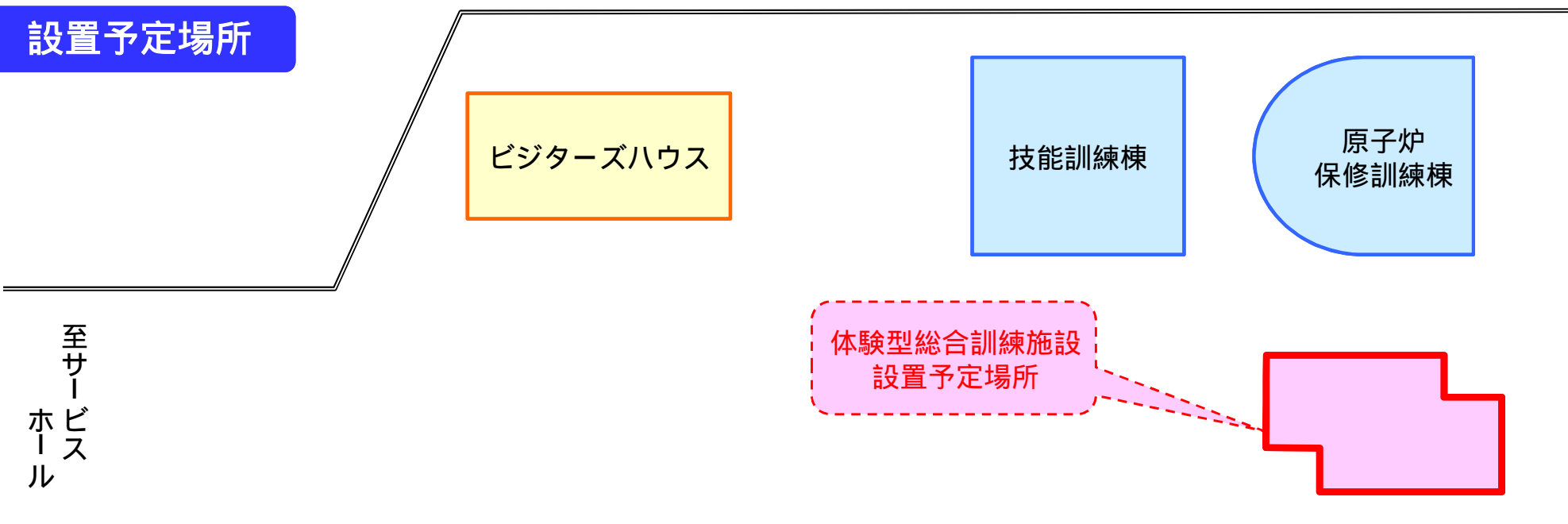
設置目的

当社社員ならびに協力企業作業員の危険に対する安全意識の向上、危険予知能力の向上を図るため体験型教育訓練施設を設置することとしました。また、当該施設には、過去に発生したトラブルの展示物を配備するなど、過去の失敗を学ぶためのコーナーも設けることで、当社社員ならびに協力企業作業員の安全教育の場として活用してまいります。

工事概要

工事開始：2016年11月1日（敷地造成工事中）
運用開始：2017年秋頃予定
建物概要：地上2階建（高さ約12m）
縦約28m、横約50m
延べ床面積約1,700㎡
【1階】危険体験訓練設備
【2階】過去の失敗を学ぶ展示(予定)

設置予定場所



危険体験訓練設備

現場作業に潜在する危険を模擬的に体験教育し、危険に対する感受性・安全意識の向上を図ります。
一人一人が体験・体感し「トラブル“0”」「人身災害“0”」を五感で学び現場で活かしてまいります。

主な危険体験訓練のイメージ

高所作業危険体験



- ・高所における作業を体験し、作業中にどのような危険が潜んでいるのかを学ぶことができる。
- ・高所および狭隘な階段部分などにおける作業リスクや手すりの重要性などについて認識してもらう。
- ・また、ダミー人形を高所から落下させることで墜落の衝撃についても体感することができる。

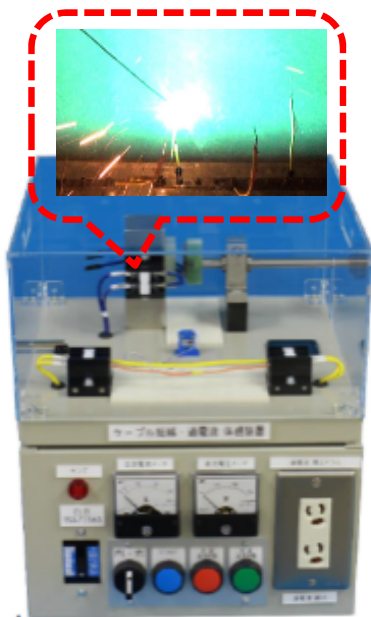
安全帯吊り下げ体験



- ・高所作業における安全帯の重要性や適切な装備方法と使用方法を学びながら、実際に安全帯を装備して吊り下げ体験ができる。
- ・安全帯を適切に使用していない場合、体への負担が大きく、安全帯の機能も発揮できないことを体験し、安全帯の適切な使用方法を体で覚えることができる。

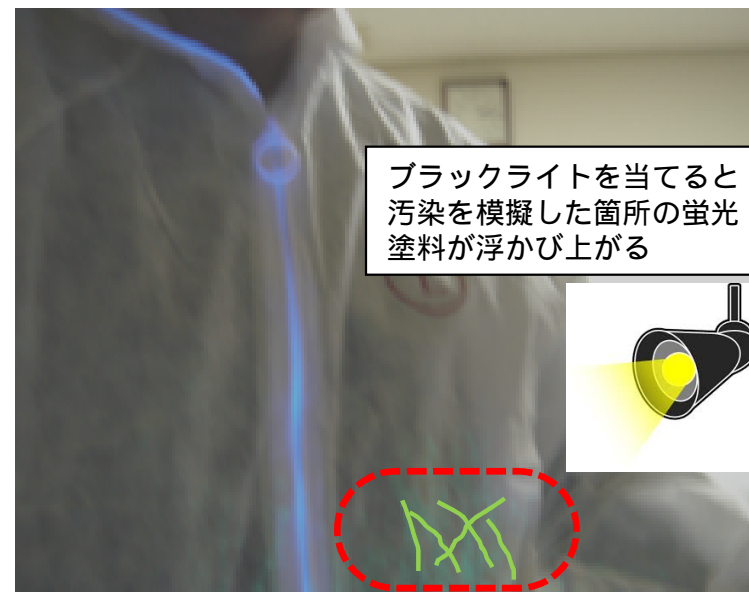
主な危険体験訓練のイメージ

電気回路短絡体験・感電体験



- ・ 電気回路の模型を用いた短絡（ショート）体験や微量の電流による感電を体験できる。
- ・ 発電所内では、電気工事に従事する場面が多いため、短絡や感電のメカニズムを実際に体験することで危険性を理解し、作業安全の向上に役立てる。

放射性物質の汚染拡大体験



- ・ 放射性物質を模擬した蛍光塗料を被服へ付着させ、完全に除染しないと汚染が広がることを体験する。
- ・ 汚染拡大を防止するための対策や、各種線量計の測定方法などについても学ぶことができ、目には見えない放射性物質について知識を深めることができる。

これらの危険体験訓練設備のほかにも、過去の失敗事例を学び、今後の失敗を防止することを目的とした展示コーナーの設置についても検討しております。

当該施設を最大限活用し、効果的な教育訓練を推進することで個人の技能を高め、これまで以上に発電所全体の安全対策に取り組んでまいります。